

セカンドキャリア
応援企画



第3回

整骨院の受付業務で シニアならではの 対応能力が生きる

東京都では今、高齢者の就業拡大を目指し、概ね55歳以上を対象にした「アクティブシニア就業支援センター」などシニア就業応援サービスを数多く実施している。働き続ける意思を持つ元気なシニアと、そのシニアの経験や知識を活用したい企業との橋渡しをしているのだ。本誌ではシリーズで、それらの制度を活用している企業とシニアの事例を紹介する。

シニアの経験やノウハウを活用する
東京都の取り組み

アクティブシニア 就業支援センター

概ね55歳以上のシニアを対象とした無料職業紹介所。都内12区市に設置されており、年間2000人以上の利用者の就職が決まっている。地域に密着したシニア向け求人情報を豊富に取り揃え、シニア世代の「働きたい」気持ちを最後までサポートする。同時にシニアの雇用を考える企業へのヒアリングも丁寧に行い、適切なマッチングを実現。再就職支援セミナーや就職面接会など各種イベントも開催している。

GO*GO! 55 アクティブシニア 就業支援センター

東 京の銀座6丁目に立地する東銀座整骨院（整体院・鍼灸院・マッサージ院）が

今回の事例企業。国家資格を持つ治療家は院長を含めて8人、治療用個室が7室、酸素カプセルが2台、エアナジーが1台設置され、銀座の住人やビジネスパーソンが終日治療に訪れる。整骨・整体・鍼灸・マッサージ・酸素セラピーなど治療メニューが豊富で、交通事故・労災指定医療機関でもある。身体を治すのは基本的に本人の免疫力、その免疫力を「治る力」のスイッチを入れるきっかけをつくるのが私たちの役割だと考えています」と関修一院長は語る。

特徴は、丁寧なカウンセリングを通じて治療方針を立て、個々の症状に合わせた的確な治療を行っていくこと。院内は清潔で落ち着きがあり、整骨院というよりサロンの雰囲気だ。

仕事に対する 責任感が強いシニア

受付スタッフは現在4人で、いずれもシニアの女性たち。都内に設置されている「アクティブシニア就業支援センター」を通じて雇用した。なぜシニアを雇ったのか。

「若い方が働くには地味な職場であり、主婦層の方々も育児などで急に休むことが多く、なかなか定着が難しいという事情がありました。シニアの方であれば生活が安定し、人間も練れている。シフトで働いてもらえば、安心して受付業務を任せられると考えたのです」（関院長）

ミも広がり、雇用は大成功でした」と語る。

年齢を理由に 断られない安心感

大西由美子氏は4年前に採用され、現在週3〜4回、4〜5時間のシフトで働いている。学校卒業後に医療事務の経験があり、結婚・出産・子育てを終えた後、65歳までの30年間は、商社で事務の仕事をしてきた。定年後しばらく家にいたが、もう少し社会の一員でいたいという思いが芽生え、アクティブシニア就業支援センターに登録した。「ずっと仕事を続けてきたし、まだ体も健康で、外で働きたいという気持ちがかくかく強かったので、引退は考えませんでした。

医療事務の経験があるためこちらを紹介されたのですが、労災や保険治療の規定などの勉強も必要で、最初は少し不安もありました」と大西氏。

だが、業務をこなすことに電話応対もスムーズになり、ヒアリング能力も向上した。「心掛けているのは、感謝の気持ちを忘れないこと。働く場所を提供してくれた院、応援してくれる家族、来院してくれる患者さん、ありがとうという気持ちを持ち続けています」（大西氏）。

勝野和佳子氏も、同じく4年前に採用された。工業機械を製作するメーカーに勤務した後、契約社員として定年まで、小規模病院の事務や経理の仕事をした。

「私の場合も仕事のある生活が普通で、リタイアするということイメージはありませんでした。仕事を探すとき、アクティブシニア就業支援センターを活用したのは、普通の職業紹介所に比べシニア向けの求人が多く、年齢がネックにならない安心感があったからです。この院では、業務報告書を通じて、現場の不満や悩みも吸い上げてくれ、適切なアドバイスもしてくれます。今は院のため、自分の最善を尽くすことを心掛けています」と勝野氏。

関院長はシニアの雇用の利点についてこう語る。

「今後は患者さんも高齢化していくので、受付スタッフが同じ目線で対応できるのも大きい。受付は若い人がいいと漠然と考えていましたが、今回の雇用を通じて、まさに目からウロコが落ちたと思います」

整骨院では珍しい安心な全室個室（約6平方メートル以上）



酸素で細胞がよみがえる「酸素カプセル」も2台設置



めもあり、センターに相談に行くこと、きめ細かいヒアリングがあり、同院が望む人材を紹介してくれたという。

同院で鍼灸師として働く関美奈子さんは、「自費治療の多い当院の受付は、単に予約を取るだけでなく、初診の方の場合は症



東銀座整骨院
関 美奈子氏

東銀座整骨院
関 修一院長

大西由美子氏
(69歳)
医療事務や商社勤務のキャリアを持つ。65歳で定年を迎えた後、アクティブシニア就業支援センターを通して、東銀座整骨院に雇用される。週3〜4日で受付業務を担当。



勝野和佳子氏
(68歳)
工作機械メーカーに勤務後、小規模病院で訪問医療の事務や経理を担当。契約終了後、アクティブシニア就業センターを通して東銀座整骨院に採用され、シフト制で週3〜4日働く。



「シニアの方たちは責任感が強く、就業前にスタンバイしてくれます」と関院長がいえば「当たり前のことをしているだけ」と大西氏



「シフト制で余裕があるので、疲労も回復し、自分のための時間も取れます」と勝野氏

問い合わせ先
東京都 産業労働局 雇用就業部
TEL : 03-5320-4676

※エアナジー……活性酸素除去システム。